

光市医師会報

平成7年2月号

No. 268

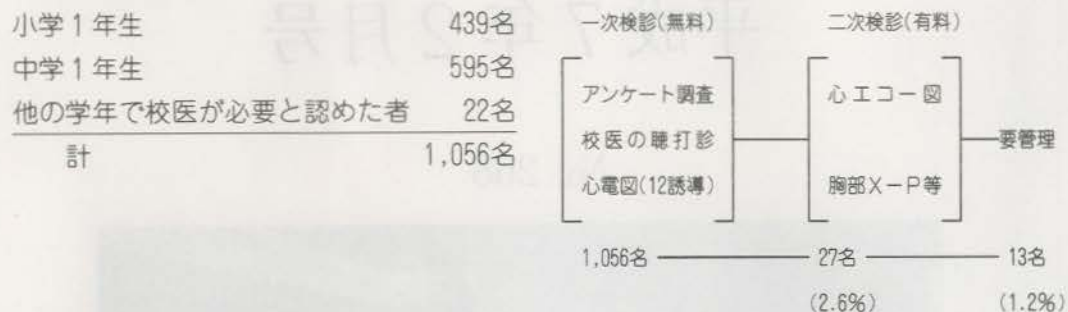


座牛・神馬

光市医師会

平成6年度 光市児童生徒の心臓検診結果報告

集団心臓検診実施方法



平成6年度 心臓検診結果

学 校 名	人 数	正 常	要 観 察	要 精 密	結 果		
					管理不要	要 観 察	要 管 理
牛 島 小	0						
室 積 小	64	62	1	1	1		1
光 井 小	51	51					
島 田 小	53	51	1	1	1	1	
浅 江 小	125	120	1	4	3	1	1
上 島 田 小	18	18					
三 井 小	38	37		1	1		
周 防 小	19	19					
附 属 小	77	75		2	2		
計	445	433	3	9	8	2	2
%	100%	97.3%	0.7%	2.0%		0.4%	0.4%

室 積 中	79	75	2	2	3		1
光 井 中	84	80	1	3	3		1
島 田 中	151	148		3	1		2
浅 江 中	183	172	6	5	3	4	4
附 属 中	114	105	4	5	5	1	3
計	611	580	13	18	15	5	11
%	100%	94.9%	2.1%	2.9%		0.8%	1.8%

小中学生計	1,056	1,013	16	27	23	7	13
%	100%	95.9%	1.5%	2.6%		0.7%	1.2%

平成6年度 心臓検査要管理者の病名

病名	小学生	中学生	計
上室性期外収縮		1	1
心室性期外収縮	1	6	7
心室中隔欠損症		1	1
肺動脈弁狭窄	1		1
W. P. W. 症候群		2	2
完全右脚ブロック		1	1
計	2	11	13

平成6年度 現在要管理者全員の病名

病名	小学生	中学生	計
心室中隔欠損症	2	3	5
肺動脈弁狭窄	1		1
心房中隔欠損術後＋上室性期外収縮	1		1
心房中隔欠損術後＋肺動脈弁狭窄		1	1
心室中隔欠損術後	1		1
ファロー四徴症術後	1	3	4
総動脈幹症術後	1		1
心臓病術後＋総肺静脈灌流異常	1		1
上室性期外収縮		1	1
心室性期外収縮	5	9	14
W. P. W症候群	1	4	5
L. G. L症候群	1		1
Wenckebach型房室ブロック		1	1
完全右脚ブロック		3	3
不完全右脚ブロック	1		1
PQ短縮	1		1
計	17	25	42

「ガンバレ 神戸」

梅田病院 院長秘書 柚木 貴晴

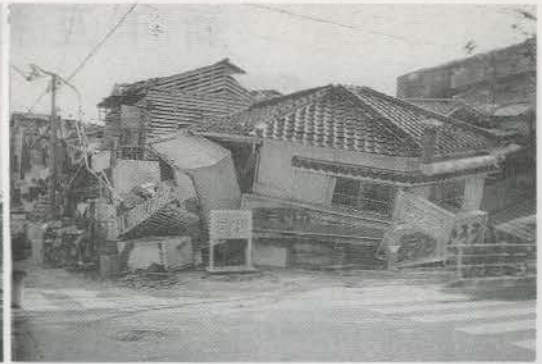
悪魔のツイストが神戸を襲った1月17日朝、いつもの通りTVのスイッチをON、この時点ではまだいくらかの被害があるもののニュースからは、たいした情報が得られず病院へ、待合室を歩いていくのでなくTVに目をやった私は、そそこに立ちすくんでしまったのです。見覚えのある街が、ビルが、高速道路が、一瞬の内に見るかげもなく横たわっているのです。

ニュースを見ていくうちに被害の多かった中央区、灘区そして日頃フレンドシップホスピタルとして当院のスタッフが合宿研修でお世話になっている林産婦人科のある須磨区も、かなりのダメージを受けていることを知り、院長より実家が中央区にあり出身校が須磨高校である私に、情報を出来るだけたくさん集めるべく指示があり、18日は一日情報収集で明け暮れました。夕方になって初めて私の同級生と連絡が付き、林産婦人科に行ってもらい状況報告を受けました。林先生宅は、半壊の状態では病院は停電、断水、ガスもストップそしてスタッフが出勤する為のアクセスが全て遮断されており、もし私の所で同じような事が起っていたら、妊婦さんは？新生児は？OPは？と考えているといってもらってもいられなくなってしまい、とりあえず院長と打合せ「アクション・ファースト」をこころがけ救援を目的とした作戦に入り、翌19日はアクセス道路の情報を得て、20日19:30出発と決定、光警察で罅マークの入手（これを

もらっておかないと、道路上で多くの規制を受ける為）から始まり、薬品、医療材料、ディスポの器具、OP着も含め、発電機の購入、カセットコンロ・カートリッジ等生活必需品をそろえ、食料や水の購入、途中買物客からの2ケースのプレゼントを含め約70ケースのダンボールをキャンピングカーに積み込み、院長と私二人しての出発となったのです。救援物資の他に、私達二人になにか起った時にも、生き残れる為のサバイバル・グッズも用意して一路神戸へ。

罅マークの威力はたいしたもの。「この紋所が目に入らぬか!!」の調子で、交通規制の中もスイスイと神戸に入り、小休止の後すぐその足で神戸市の状況を把握する為に深夜東灘区まで足をのばし見れるだけ見て、早朝須磨区の林産婦人科への物資の搬入を済ませました。目をうるませた林先生とスタッフのみなさんに胸をあつくしながらのトンボ帰りとなりました。

深夜から早朝にかけて走り回って見た、神戸のダメージは思ったよりヒドク、さながらグラビアで見た終戦直後の焼野原の神戸そのものです。それは神戸っ子の私でさえ道に迷う程のダメージなのでした。そんな訳で第2回の神戸への物資搬送計画は、帰りの車中で着々と出来上がっていったのです。21日に光に帰って来て、翌日光はすでにボランティアグループの人達が物資の調達の為に西へ東へのアクションです。まさに女性パワーの爆発する所です。他に第



2回の搬送計画を知った多くの人達からの物資の提供依頼も実に多くあり、それぞれが「私に出来ること」をテーマでの申し出でした。人手を提供してくれる人達、お菓子屋さんはお菓子、寝具屋さんはおふとん等々、ペットフードにいたるまでの“愛”を満載しての出発です。

夜中に光を立ち、早朝よりの活動開始です。私達の活動範囲は当初の計画通り、行政の手があまり届いていない所への救援とし、物資の搬走は須磨区の一の谷勤労者センター（300人収容）、西須磨小学校（400人収容）そして、収容者なんと1600人のマンモス救護所の大黒小学校では訪問の最中に水道から水が出始め、そんなことが1600人の大歓声となるととても感

動的な場面を見ることが出来ました。

第3回のIMAYA（国際医療協力山口の会）の医療団の救援活動については、私が道案内として同行させていただき、とてもハートフルな診療を目にして感動して帰って来ました。

今後は、2月11日に神戸入りをしてさらに詳しい情報を入手し、来るべき17・18・19日の救援に備えたいと思っています。出来れば、私達を含めてボランティア活動がただ一時の打上げ花火になってしまうのではなく、「少し愛して、永く愛して」のCMではありませんが、神戸がもと通りの街になるその日まで、私達なりにささやかな愛を手渡していけたらと思っています。

最後に心から『ガンバレ 神戸』



新年互礼会

日時：1月24日(火) 午後7時～

場所：徳山敦煌新館

出席者：22名



〔近藤会長挨拶〕

本日は大変お寒い中、お集りいただきまして誠に有難うございます。恒例の新年互礼会を開催させていただきたいと思ひます。

本年は正月あけまして早々に阪神大震災という大災害がおこりまして5千人をこす方々がお亡くなりになりました。心より哀悼の意を表したいと思ひます。

また、50万をこえる人々が家を焼かれたりあるいは被災されておられます。心からお見舞い申し上げたいと思ひます。また会員の皆様の中にも、ご親戚や、知人、友人の方々が亡くなられたり、あるいは被害に遇われたりして大変ご心配のこととお察しいたします。かさねてお見舞い申し上げます。この間廻しましたが、当医師会といたしましても日本医師会をつうじて義援金を送りたいと存じます。のちほどそれぞれにお窺いたしますので、是非ともご協力いただきますようお願い致します。

さて本年は光市医師会の念願の新しい拠

点を4月から得る事ができます。今度は冷暖房も完備でございますし、事務局も広くなります。またホールはマイクもスクリーンも完備しておりますので、どうぞ十分にご活用いただきたいと思います。覚書により15年間は無料で使う事ができます。

それから10月には当医師会の引き受けて周南医学会を開催いたす事になっております。委員長であります赤崎先生を中心に準備をすすめておりました、講師の人選も終わった段階でございます。そのうち皆様方にもいろいろとご協力願うと思ひますがどうぞ宜敷くご協力いただきますようお願い致します。

本年は新年早大なる災害でございましたけれども、皆様方一人一人にとりまして価値多い年でありますようお祈りいたしたいと思ひます。どうも有難うございました

1 月 医 師 会 月 間 行 事

日	行 事	出 席
10	定 例 理 事 会	9 名
13	心 電 図 研 究 会	7 名 (光市医師会)
24	新 年 互 礼 会	22 名
28	諮 問 委 員 会	8 名

1 月 定 例 会 理 事 会

日時：1月10日(火) 午後7時～

場所：栄ふく

出席者：近藤、前田、赤崎、梅田、藤村
市川、光武、藤原、吉村

議題：

- 1) 成幸苑よりの増床申込について (近藤)
理事会了承
- 2) 老健施設新設の申し出について (近藤)
諮問委員会を設置する。委員会です
話し合ってもらおう。
- 3) 会計報告について (前田)
的確な処理がなされており、承認
- 4) 乳ガンの検診について (光武)
乳ガン検診の終了時間がまちまちである。終了時間をきちっと決めたらどうか。1回の人数が多過ぎはしないか。市と折衝する。

第79回 心電図研究会

光市・下松医師会合同

日時：1月13日(金) 午後7時30分～

場所：光市立病院

出席者：7名 (光市医師会)

症例

- 1) 82才、♀ (主訴) 易疲労感
慢性腎不全、高K血症—テント状T波
- 2) 64才、♀、回旋枝梗塞
- 3) 57才、♂ (主訴) 胸痛、嘔吐、
ビールス性心筋炎—幅広いQRS

老健施設開設に関する諮問委員会

日時：1月28日(土) 午後7時30分～

場所：光市医師会

出席者：8名

||||||| あ と が き |||||

春を呼ぶ花が椿、春を告げる花が梅と言われております。冠梅園の梅も、だいぶ色を増してきました。春はすぐそこまで来ているのでしょうか。冠天満宮の境内に座牛と神馬が再建されておりました。座牛は天満宮でよく見る風景ですが、馬というのは珍しいのではないのでしょうか。戦時下に供出され、約50年ぶりに復元されたものだと説明板に書かれておりました。

先日の地方紙に梅田先生と柚木さんが、被災後間もない神戸に支援に行かれた記事がのっておりました。大変心暖まる思いがしました。その時の模様を書いていただきました。

春の選抜高校野球の出場校も決まりました。兵庫県からは三校の出場です。球児達にはひと足早い春がおとずれました。一方プロ野球の方も各球団とも各地でキャンプをおこなっております。新聞などからキャンプ便りが届き、球春を告げております。

今も連日阪神大震災のニュースが報道されておりますが、被災地の人々に心の春がおとずれるのはいつなのでしょう。 (吉村)

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	近藤龍一
編集者	広報担当
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社